

## 新刊案内



「むしむしでんしゃ」  
内田麟太郎／ぶん  
西村繁男／え



「きょうは、おおかみ」  
キョウ・マクレア／ぶん  
イザベル・アーセノー／え

考える方法 -- 桐光学園+ちくまプリマー新書編集部  
いい山いい宿いい温泉秘湯・名湯めぐりの山旅ガイド  
全国版 ----- 日本秘湯を守る会  
新種の冒険 びっくり生きもの100種の図鑑  
----- クエンティン・ウィーラー、サラ・ペナク

世界はシステムで動く ----- ドネラ・H・メドゥズ  
ナポリ食堂「ダイーサ」のまかないイタリアン -- 山本尚徳  
迷宮の花街 渋谷円山町 ----- 本橋信宏  
光琳ART 光琳と現代美術 ----- 内田篤呉  
妖怪きょうだい学校へ行く 妖怪一家九十九さん -- 富安陽子



## 「冒険」

インターネットを利用すれば世界各地の写真を見ることが可能になった現代においても、世界中に冒険へと出掛ける人々がいます。今回はそんな彼ら冒険家の本を紹介します。彼らは何を目にするために冒険の旅に出るのでしょうか。

**石川直樹『いま生きているという冒険』。**  
高校時代に一人でインドを旅して以来、地球縦断からチョモランマ登頂、熱気球による太平洋横断と次々と新しい挑戦に挑む著者。旅とは何か？ 経験とは何か？ 世界とは何か？ 生きることそのものを問う冒険エッセイ。中高生向けに書かれています。大人も十分楽しめる内容です。

**高野秀行『恋するソマリア』。**アフリカ大陸の東端に広がる世界一危険な地、ソマリア。この地の人々に魅せられた著者が、もっと知りたい、近づきたい、文化を日本に紹介したいと、一般家庭の台所から戦場まであらゆる場所に飛び込んでいきます。どんな状況下であっても、著者とソマリ人の妙に明るい気質が印象的で、楽しんで読むことができます。

**デイヴィッド・グラン『ロスト・シティア 探検史上、最大の謎を追え』。**エルドランドと呼ばれた南米の幻の都市の存在を確信した冒険家フォーセットは、1925年の遠征で、アマゾンの奥地へと消えたまま二度と戻りませんでした。「20世紀探検史上、最大の謎」と呼ばれ、世界を熱狂させたこの謎に著者が挑みます。アマゾンの脅威を乗り越え進んだ先には、驚きの結末が用意されていました。

## 8月の休館日

3日(月)、10日(月)、17日(月)、24日(月)  
28日(金)、31日(月)

### 開館時間

火～金曜日 午前10時～午後7時  
土・日曜日、祝日 午前10時～午後5時  
図書館は無料でご利用いただけます。

## お知らせ

今年も小学校低学年の部から高等学校の部まで、読書感想文コンクールの課題図書が選ばれました。図書館では同じ本を何冊か用意していますが、多くの方に利用していただくため、8月末まで貸出は1人1冊1週間(予約不可)の制限を設けていますので、ご了承ください。